

東京スター銀行 国内企業のアジア進出支援ファンドへの参画を決定

～ ファンド出資を通じて本邦企業のアジア進出と成長をサポート ～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 入江 優、以下「当行」)は、国内企業のアジア進出支援を行う企業投資ファンド(AZ-Star1号投資事業有限責任組合、以下「1号ファンド」)を運用するAZ-Star株式会社(代表取締役社長 鈴木 信一郎、以下「AZS」)の株式取得、および1号ファンドに対し有限責任組合員(以下、「LP投資家」)として組合出資を決定しましたのでお知らせいたします。

AZSはアジアにおける成長機会を求めお客さまへのサポートを目的として、本年2月に株式会社あおぞら銀行(東京都千代田区、代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)馬場 信輔、以下「あおぞら銀行」)、兼松株式会社(東京都港区、代表取締役社長 下嶋 政幸、以下「兼松」)、および株式会社エスネットワークス(東京都千代田区、代表取締役社長 須原 伸太郎、以下「エスネットワークス」)が共同で設立した合弁会社で、既に運営する1号ファンドを通じて、第1号案件への投資を完了しております。

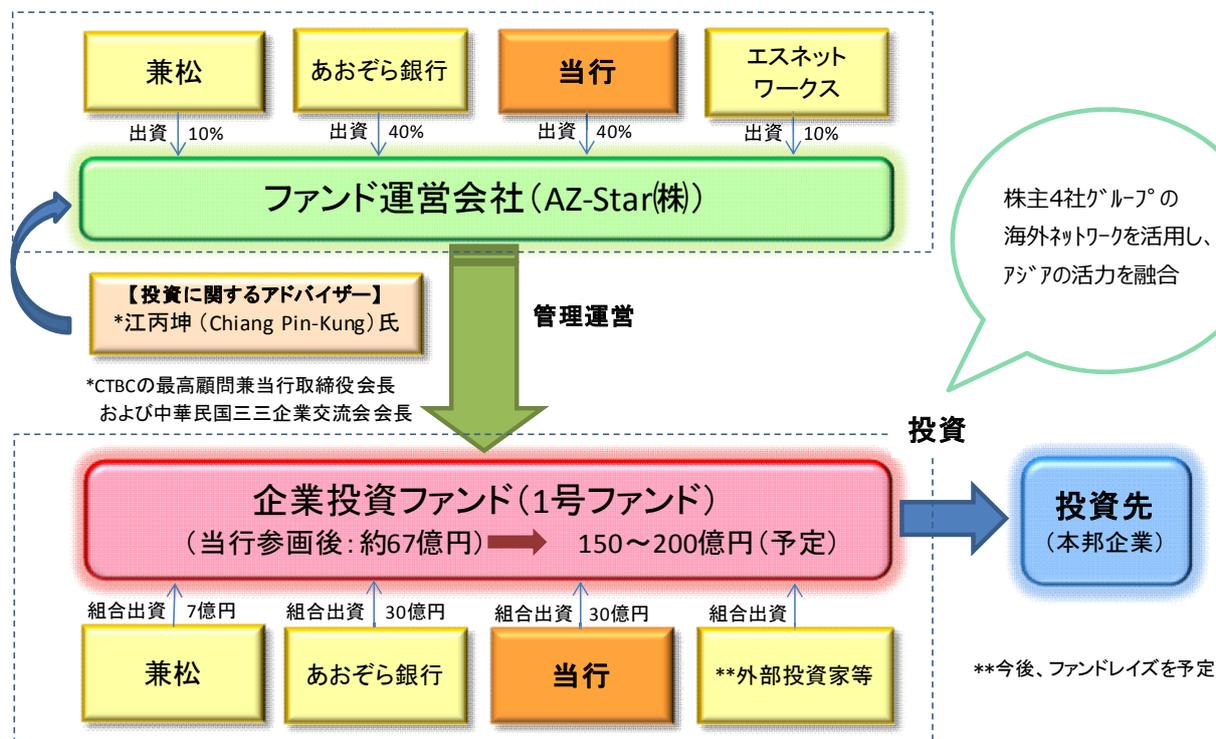
AZSは、近年発展が目覚しいアジア地域への進出等により、更なる成長を目指す国内企業に対し投資を行います。本取り組みにより国内企業の有する成熟した技術や優れたサービスを活性化し、アジアの成長を日本国内に取り込み、我が国経済の持続的な成長を支援することを目的としております。

当行は、アジアの成長を日本企業に取り込むという設立趣旨に賛同し、AZSへの出資を決定したものです。加えてあおぞら銀行は、当行親会社グループであるCTBC Financial Holding Co., Ltd. (中国信託金融控股(股)公司、社長兼投資事業総執行長(CEO):呉一揆(Daniel Wu)、本店:中華民国台北市、以下「CTBC」)と、本年6月に包括的業務提携を締結しており、本件はCTBCグループとして、当該提携に基づく、具体的な取り組みの第一歩でもあります。

AZSの株式取得によって、当行はあおぞら銀行と並列の筆頭株主(株式シェア40%)となります。また1号ファンドに対しても、大口LP投資家としてあおぞら銀行と同額の30億円の組合出資を行います。これにより1号ファンドの規模は約67億円となり、今後外部のLP投資家を募ることで、150～200億円規模のファンドを目指してまいります。

東京スター銀行では、今後もCTBCグループの一員として、お客さまの海外進出支援や、より魅力的な資金調達のご提案等のさまざまなソリューションを提供し、お客さまを積極的にサポートしてまいります。

【スキーム概要】



【AZS の概要】

商号	AZ-Star 株式会社 (英文表記 AZ-Star Co., Ltd.)
所在地	東京都千代田区九段南三丁目 2 番 7 号
設立年月日	2015 年 2 月 18 日 (業務開始日: 2015 年 4 月 2 日)
資本金	30 百万円
事業内容	企業投資ファンドの運営
株主	当行(本件参画後)、あおぞら銀行、兼松、エスネットワークス
代表者	鈴木 信一郎
URL	http://www.az-star.com

以上